

「和解の務め」音信 (18 - 1)

Ministry of Reconciliation in South Africa

これらのことはすべて、神から出ているのです。神はキリストによって私たちをご自分と和解させ、また和解の務めを私たちに与えてくださいました

(II コリント 5:18)



2018年も2月になりました。皆様にとっては今年の計画が着々と進められていると信じ、お喜び申し上げたいと思います。今年初めの音信をお送りいたします。

1. 「和解の宣教集会」主日礼拝の再開

日本から帰って来て少し息を整える時を過ぎて、今年1月7日主日から「和解の宣教集会」の主日礼拝を再開しました。まだまだ小さい人数ですが、一人ひとりの大切さを身で覚えながら進めております。アフリカンス語の礼拝が終わってから、私たちの礼拝は12:00から始まり、午後1時ごろには終わります。



(礼拝の後、野外での交わり)

その後、一緒に昼食を食べるアガペ(愛餐)

の時を持ち、食事の後、片付けてから共に祈りあう時を持ち、その後解散します。全部2時間ぐらい掛かります。これから忠実な伝道や弟子化訓練を通して健全な教会形成を目指す心算です。その後、一緒に昼食を食べるアガペ(愛餐)の時を持ち、食事の後、片付けてから共に祈りあう時を持ち、その後解散します。全部2時間ぐらい掛かります。これから忠実な伝道や弟子化訓練を通して健全な教会形成を目指す心算です。

2. 今年の計画

去年と同じく、今年も一年の「和解の務め」計画を立てて見ました。大体以下のようになりますので、ご参考の上、お祈りに覚えてくだされば幸いと存じます。

- 1) ステレンボシュ改革派教会の活動とボランド地区会(Classis)活動への参加
- 2) ステレンボシュ地域における国際ミニストリと「和解の宣教集会」の継続的なケア：特に、9月22日から24日まで集会開設1周年記念行事を行う予定です。なお、今年から家庭集会(House Gathering)を設け、運営します。
- 3) アフリカ地域リサーチの継続とケープ

タウン地域における日本人コミュニティのリサーチの開始

- 4) クラプムツ地域のリサーチと児童ミニストリの開始
- 5) ライフスタイル・クリスチャン・アカデミでのボランティア活動の継続
- 6) 中南部アフリカ宣教大会への参加
- 7) ミッションハウス或いはセンター設置の準備

健康に気を付けつつ、主が許して下さる範囲内で進めて参るつもりです。

3. 児童伝道協会 (Children Evangelism Fellowship) との協力

クラプムツの児童ミニストリのために色々調べてみる内に、南アフリカにも児童伝道協会があることを知りました。そして丁度ステレンボシュから近いサマセットウェスト(Somerset west)というところにその事務所があることを知りました。早速連絡をしてその事務所に訪ねました。そこにはイギリス人の夫婦が協会の責任を取っており、私の訪問を喜んでくれました。

私自身、小学校1年の時から教会学校に通い始め、家内も小一年の時、教会学校で救われました。のみならず、神学大学時代、自分の郷里の子供たちに児童伝道協会の資料を使用して聖書の話しをして上げましたが、予想以外にそこから救われる子供たちが出てきて、後に牧師や女性勸士たちになった祝福の経験がありました。私はこの児童伝道協会に協力し、そして伝道協会から協力して頂く所存です。



(南アフリカ C.E.F.のワークショップ)

祈りの課題

幾つかのお祈りの課題を申し上げますので、皆様の信仰の執成しを宜しくお願い致します。

- 1) 今年の計画が主の御心の内に一つひとつ実行されて行きますように。
- 2) 特に、「和解の宣教集会」を中心にした伝道、弟子化訓練、社会奉仕、教会形成が順調に行われるように。
- 3) アフリカ全体の福音化と真の福祉のために
- 4) 家内(朴貞玉)の健康と順調な復帰のために

宣教の主の御恵みと平安が皆様に豊かに臨まれることをお祈り致します。マラナータ!